

第2卷【夏の章】

寺館和子



妖変

原氏物語

げんじ

ものがたり

妖変

源氏物語

第2卷【夏の章】

寺館和子

妖変
源氏物語
第2卷
【目次】

【朧月夜】の巻

三

【明石の君】の巻

六九

【梅壺】の巻

一二五

おほろ
づき
よ
朧月夜

あの方は 突然現れました
桜の宴のその夜に

おぼろげで柔らかな月の光の中から…

その心地よい月の光と花の^{しとね}褥に
身を委ね時の経つのも忘れました

彼の方が誰であれ
私がいかなる立場のものであれ

彼は私の生涯の愛人——“光の君”

おぼろ
づき
よ
朧月夜

桜の乱舞する朧月夜に

出会ったあなたは、

一族の仇敵の男性だった



原典のあらすじ【朧月夜】

源氏の君と過ちを犯し、身ごもってしまった藤壺女御は二月に男の子を出産した。桐壺帝は、幼い頃の源氏の君に生き写しの若宮をかわいがり、尊敬する父を裏切った源氏の君と藤壺は、自分たちの犯した大罪におののく日々を送っていた。

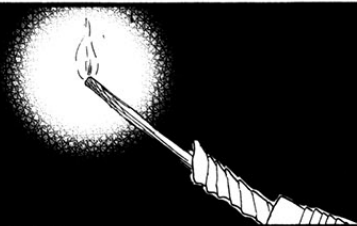
桐壺帝は若宮を将来の東宮にするべく、母である藤壺女御を中宮につけた。当然、すでに東宮となっている朱雀院の母である弘徽殿女御の心は穏やかならぬものがあつた。

源氏の君二十歳の春、紫宸殿で藤壺中宮も列席した盛大な花の宴が催された。宴が終わると、源氏の君はほろ酔い加減で藤壺の姿を求めて宮中を徘徊していたが、藤壺の部屋は入り込む隙もなく厳重な戸締まりがされていた。そんな狂おしい夜に出会ったのが朧月夜である。

朧月夜は右大臣家の六の姫であり、源氏の君をこころよく思っていない弘徽殿女御の妹君であつた。右大臣家では、この姫を桐壺帝と弘徽殿女御との間にできた第一皇子である朱雀院に入内させ、やがては后に押し立てようと考えていた矢先であつた。



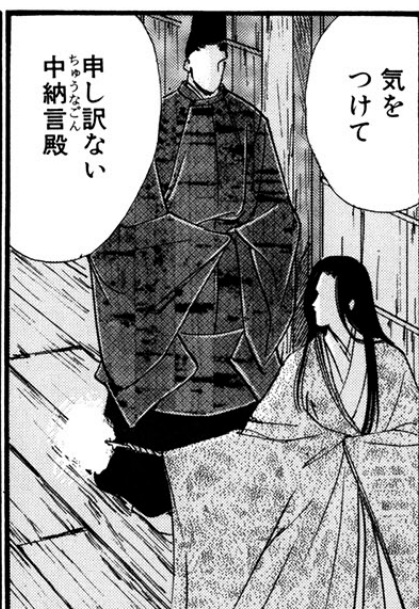
こちら
です



心得て
下さい

五壇の御修行が
始まっています
いくら帝が
謹慎中とはいえ
人の出入りが
多いのですよ

わかり
ました



気を
つけて

申し訳ない
中納言殿

……
源氏の君？

そうです
私です
尚侍の君

ああ
そんな名前は
よして

でもあなたは
今や朱雀帝の
寵愛を受ける身
とりわけ帝は
あなたのことを
気に入られて
る

帝が
何よ

私が望んだ
わけじゃ
ない
大后の姉と
父が
決めたこと

私の心は
あなただけの
ものよ

ああ

あなたが私に
つけたように
朧月夜の君と
あの夜 私達が
初めて会った
夜のように
私を抱いて





やはり
どこの戸も
閉まっている





朧月夜に
似るものぞなき…

…ぬ 春の夜の

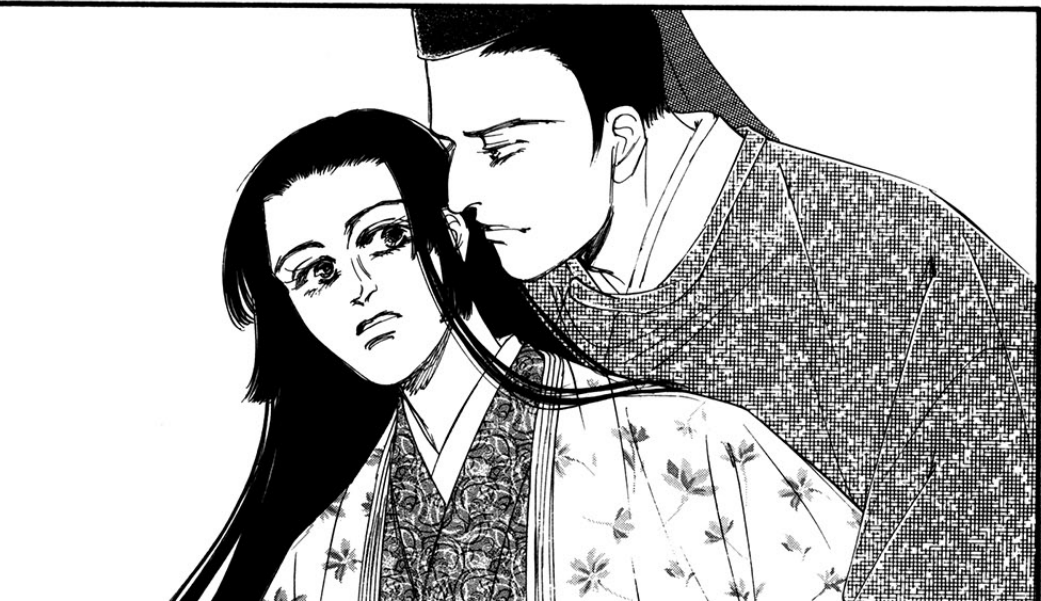


これは

なんという
美しい声…



あ…



こんな美しい夜を
勿体ないと
思っているのは
私だけでは
ないらしい

これも
運命の
出会いだと
思いませんか

まア
どなた？

人を
呼びます
わよ

大丈夫
私は誰からも
許されてる身
ですから

この声は…

源氏の君

あ…



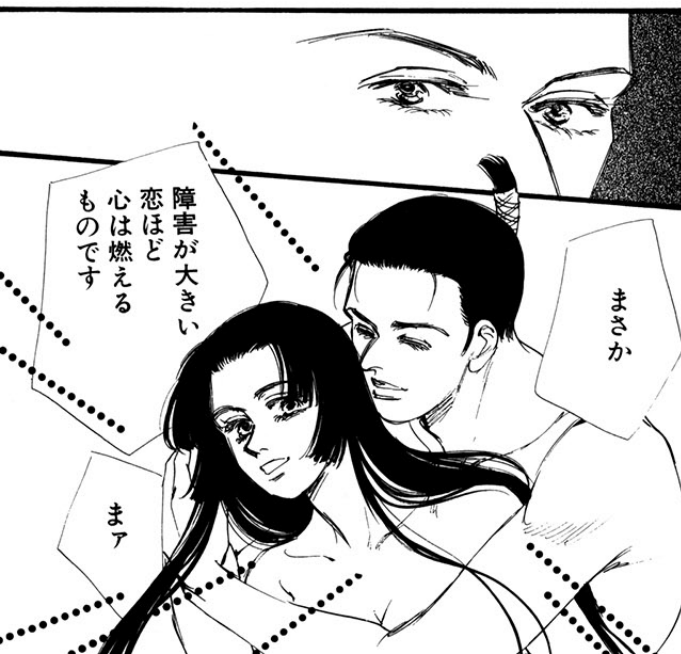
まさか
あなたが
弘徽殿の妹の
それも春宮に
入内を控えていた
身とは……

姉は
あなたと藤壺の宮を
目の仇にしている
人ですものね



とりわけ
桐壺院が
亡くなってからと
いうもの
姉の太后は何かと
あなたの罪を
探しているわ
こんなことが
知れたら
大変

私と
会ったのが
怖くなったの
ではなくて



まさか

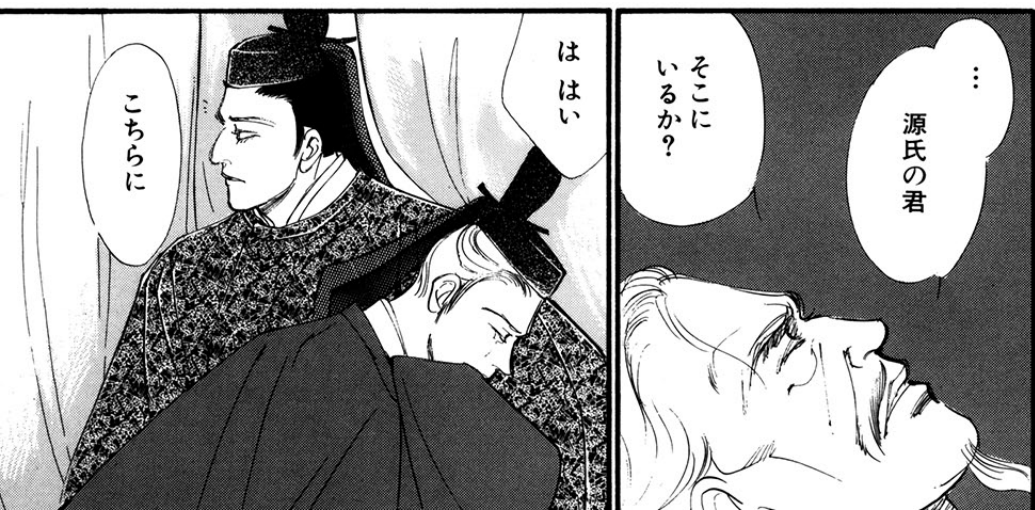
障害が大きい
恋ほど
心は燃える
ものです

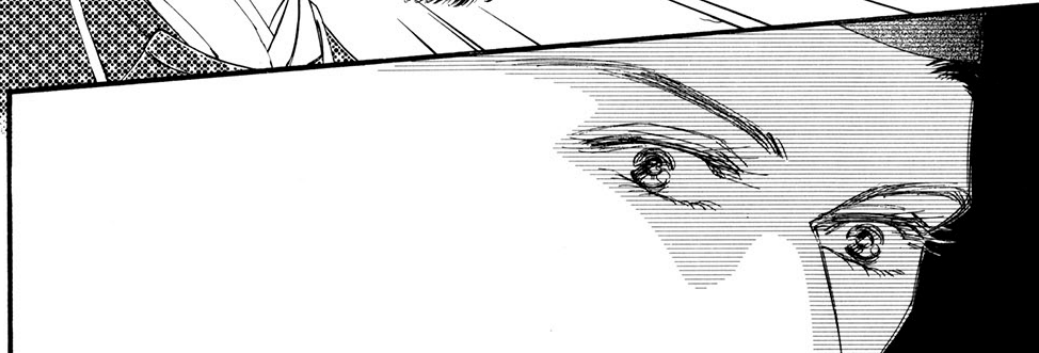
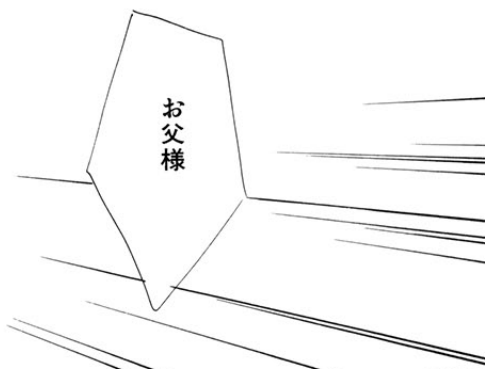
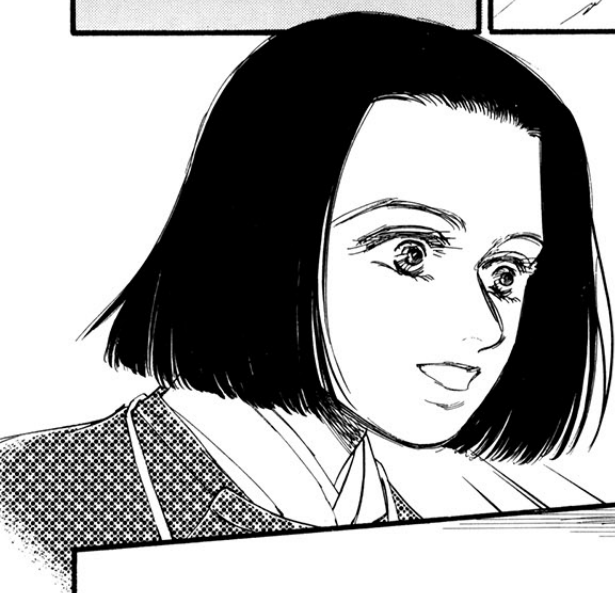
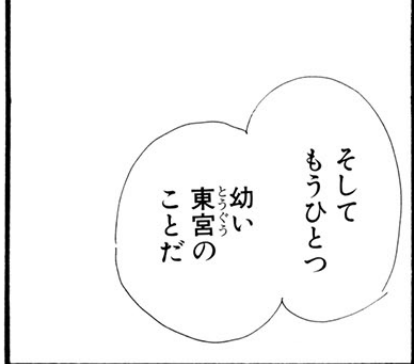
まア



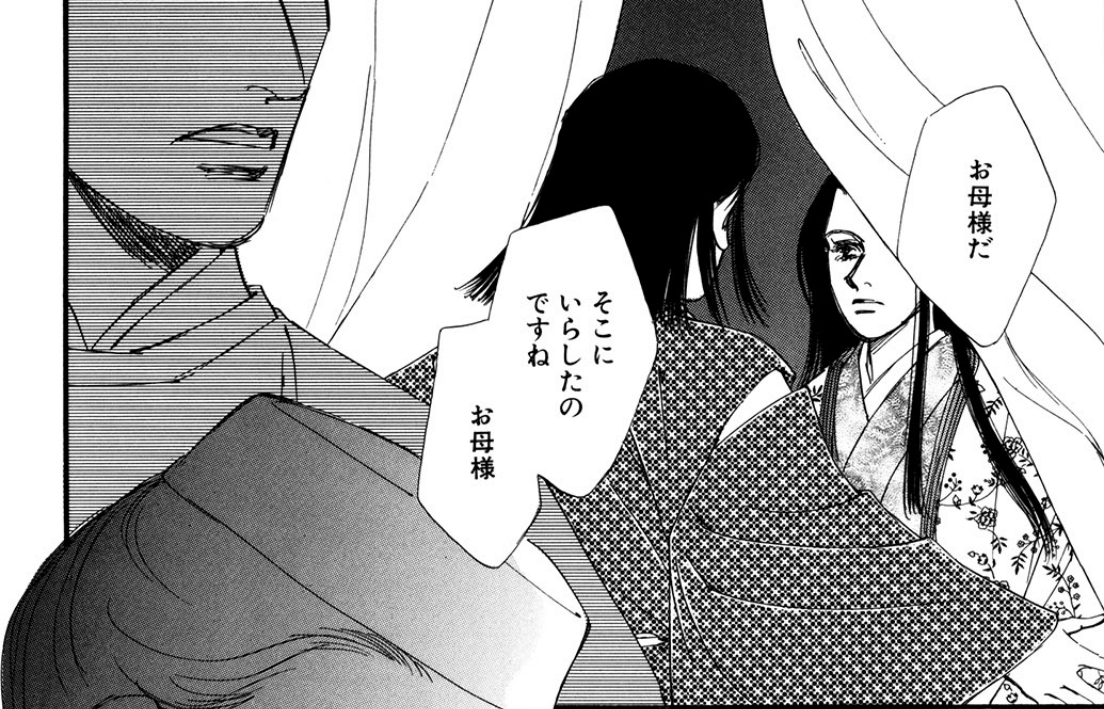
あのあと
あなたは名前を
明かしてくれなくて
互いに扇だけを
とり交わしただけ
だが……











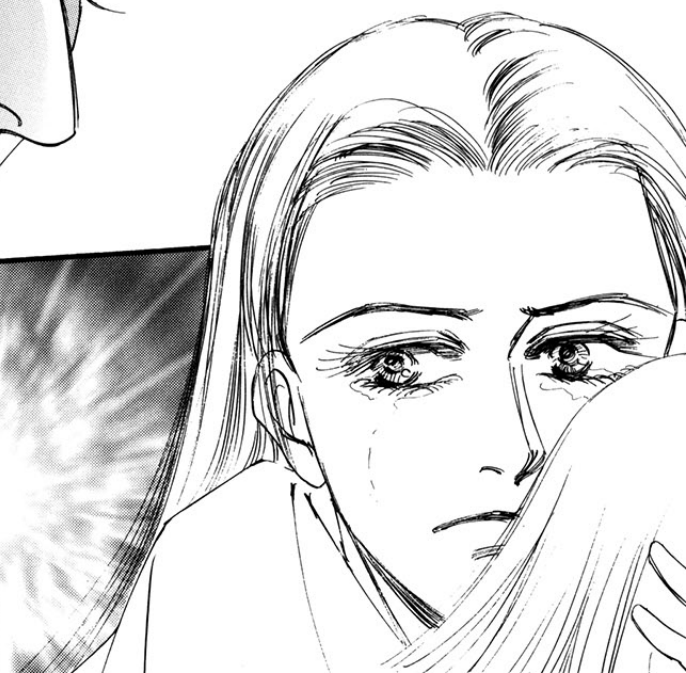
お母様だ

そこに
いらしたの
ですね

お母様



藤壺の宮



父上——っ



東宮の…
…こと

どうか…

東宮を…
源氏の…
君…



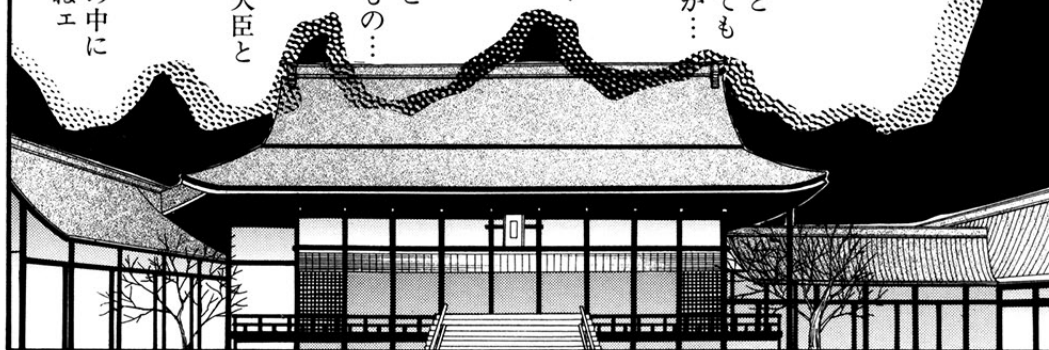
よ…ろ



あなた——っ



さぞかし
住みにくい世の中
になるのだろうねエ



我々がしつかり
補佐しないとな



とんでも
ない
これからよ





今まで
煮え湯を
飲まされた分

これからは
報復させて
もらうわ

見てなさい
ふたりとも



御法事を勤める
源氏の君の姿
御覧になった？

ええ……
本当に痛々しい
こと

昨年^{*}の北の方に
続いている
今年は院の喪……

とりわけ
桐壺院は
君のことを
可愛がられて
たから

幼い東宮が君に
生き写しと
喜んでらっしゃった
ものよねエ



紫^{ムラサキ}の上か

年も改まったと
いうのに
ずっと家に
引き籠もって
ばかり……
身体に悪いわ

朝拝は
されないの
ですか



源氏の君

※北の方＝正養。ここでは養の上を指す。